

学校名	増進学園高校				
学年	中学	・ <input checked="" type="radio"/> 高校	2年	クラス	A出席番号 20
氏名	増進 太郎				

## ■2級 電子マネーの利用について

無断転載複写禁止・譲渡禁止 / Z会ソリューションズ

- 中學か高校の当てはまる方に丸をつけてください。
- 学年、クラス、出席番号、氏名が表に来るよう、二つ折りにして提出して下さい。
- 答案を書き終えたら、語数を数え ( ) wordsに数を記入して下さい。

- 以下のTOPICについて、あなたの意見とその理由を2つ書きなさい。
- POINTSは理由を書く際の参考となる観点を示したものですが。ただし、これら以外の観点から理由を書いてもかまいません。
- 語数の目安は80語～100語です。

## TOPIC

More people in Japan pay with electronic money when they buy things. Do you think people will not need to bring any cash with them in the future?

## POINTS

- Convenience
- Management
- Emergency

I don't think people will not need to bring any cash  
(#1-1) (→ I think people will need to bring cash)  
with them in the future.

(#2) I have two reasons.

First, electronic money can't trust. For example,  
(#3-1) (→ can't be trusted) (#4) (→, because)  
electronic money can't see our eyes. Second, electronic  
(#3-2) (→ can't be seen) (#5) (\*)  
money can't use many places. It is difficult for many  
(#3-3) (→ can't be used)  
shops and people to change the machine for electronic  
(#6) (→ introduce) (→ a)

money. That is why I don't think people will not  
(#7) (→ These are why) (#1-2)  
need to bring any cash with them in the future.

(#6) "change (~を変える、交換する)" でも  
問題ありませんが、  
"introduce (~を導入する)" の方が  
内容がはっきりします。

(#7) 理由は2つありますので複数形に  
します。

(#1-2) 導入文と全く同じ文なので  
言い換えましょう。

(例) I believe people will need  
to carry cash.

(\*) 語数の目安(80~100語)に  
近づけるために、ここに具体的な  
例をつけ加えてみてもよいでしょう。

(例)

In an emergency, people cannot  
get money out of an ATM and  
they cannot use their smartphones.

(#1-1) 「現金を持ち運ぶ必要がない」とは思わない」と  
二重否定によっています。

「現金を持ち運ぶ必要があると思う。」と言い換えて、  
主節と従属節の両方を肯定文とする方が自然です。

(#2) この後、理由が2つ続きますので、ここで理由が2つ  
あることを示しておきましょう。

(#3-1) 電子マネーが主語に立っているので "trust (~を信用する)" は  
受動態にする必要があります。

[能動態: People cannot trust electric money.  
受動態: Electric money cannot be trusted.]

( 70 ) words

(#4) 電子マネーが信用できない理由が次の文で述べられて  
いるので、ここは because にする方がつながりが自然です。  
また、because は、前の文とつなげて小文字で始めましょう。

(#3-2) (#3-1) 同様、受動態にしましょう。

(#5) 「目で」と表現するためには、with が必要となります。  
「実際この目で」は、with one's own eyes と表します。

(#3-3) (#3-1) 同様、受動態にしましょう。

内 容	3
構 成	4
文 法	2
語 彙	3

(各項目0~4点)

合 計	12
-----	----

(16点満点)



【総括コメント】  
論述の展開が「はじめからで、簡潔に  
まとめられています。1つ目の理由について  
もう少し詳しく説明できるとより良いですね。  
受動態の文について復習しておくましょう。」